

新宿駅周辺防災対策協議会 新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会共催
講習会（トレーニング）

現地本部運営シミュレーション訓練

主宰 鈴木光



防災図上訓練指導員/減災ファシリテーター/工学院大学客員研究員

index

1. 訓練の目的、本日の予定

2. 訓練方法・ルール、前提、役割分担

3. 訓練

4. ふりかえり

1. 訓練の目的、本日の予定

2. 訓練方法・ルール、前提、役割分担

3. 訓練

4. ふりかえり

本日の訓練の目的

①西口現地本部の役割を知る

- ・ 事業者の情報交換の拠点
- ・ 地域の応急救護の情報拠点
- ・ 災害対応活動の支援拠点

②西口現地本部運営手順を知る

- ・ 本部立ち上げ
- ・ 役割分担
- ・ 各種情報の収集、共有方法
- ・ 支援のマッチング

③新宿ルール実践のための行動指針及び手順書の実効性を検証する。

本日の予定

項目	時間 (所用時間)	内容
事前説明	14:00～14:40 (40分)	訓練趣旨・訓練ルールの説明 訓練の前提・条件 手順書解説 訓練模擬練習等
訓練 (120分)	14:40～15:00 (20分)	フェーズⅠ 発災直後 (発災から2時間後頃)
	15:00～15:30 (30分)	フェーズⅡ 直後から一時避難 (発災日の夕方まで)
	15:30～16:00 (30分)	フェーズⅢ 一時避難から一時滞在 (発災日の夕方～日没まで)
	16:00～16:10 (10分)	フェーズⅣ 帰宅 (日没～翌朝)
	16:10～16:20 (10分)	休憩
振り返り	16:20～17:00 (30分)	各班内での感想、課題等の共有 各班から代表者による発表・共有 質疑応答 講評、アンケート記入



5

index

1. 訓練の目的、本日の予定

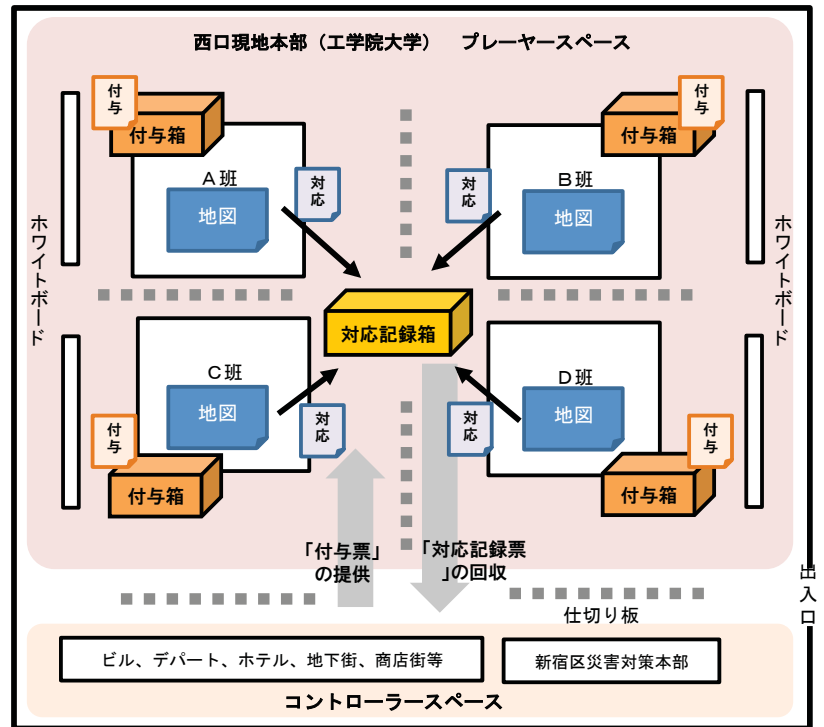
2. 訓練方法・ルール、前提、役割分担

3. 訓練

4. ふりかえり

訓練の方法

- 机上で行うロールプレイング方式の訓練（西口現地本部運営の疑似体験）
- コントローラーから次々に出される「付与票」にプレイヤーは対応していく。
- プレーヤーの対応は、対応記録票に記載し、コントローラーに提出する。



訓練の前提

- 23区内で震度6強、新宿区内で5弱の大規模地震が発生
- 電車、バス等の交通機関は停止
- 都内の一部で停電・断水
- 新宿駅周辺には数万人規模の滞留者が発生

地震発生日時

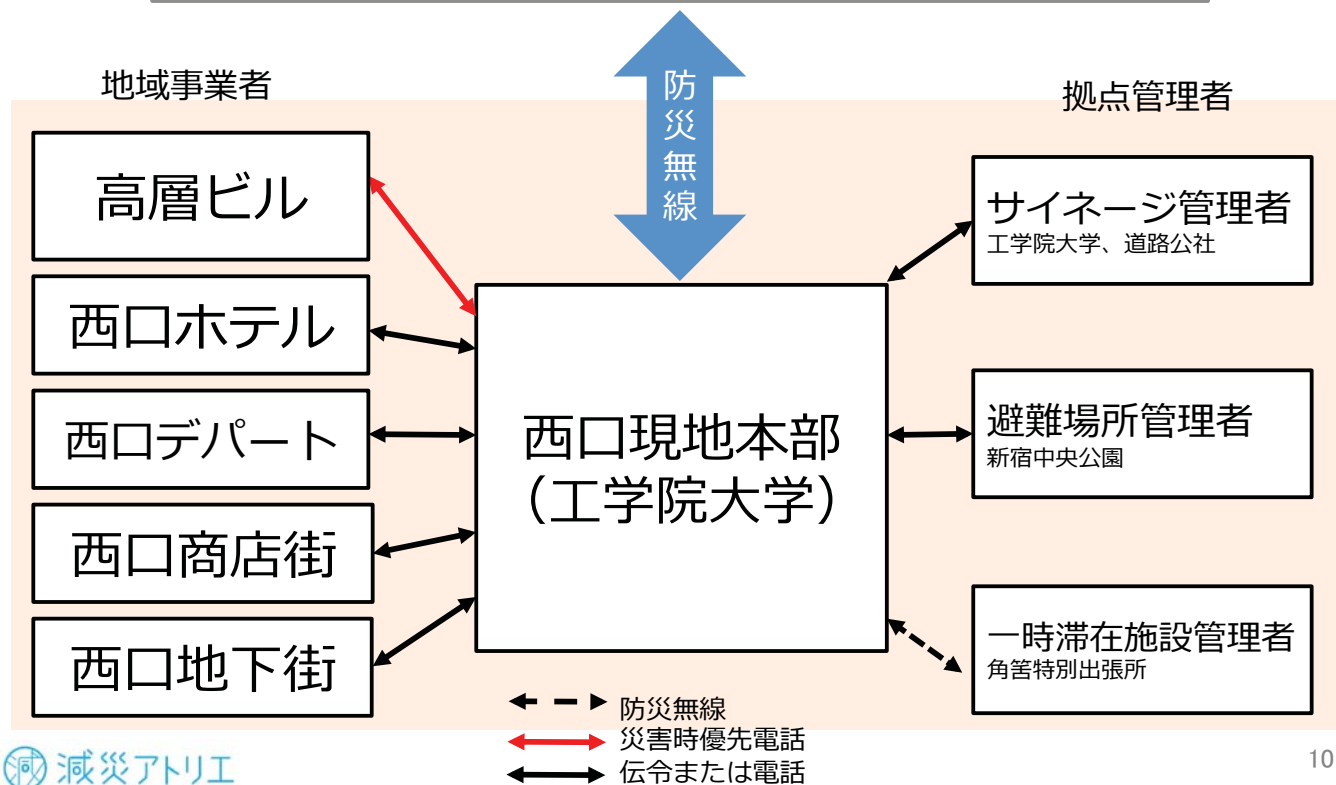
10月26日（水）10:00【平日・午前】

訓練の前提（西口本部の条件）

項目	内容
設置場所	工学院大学 2階
通信手段	防災無線（⇔災对本部） 災害時優先電話 03-1234-5678 （⇔各ビル、施設）
被害	建物は甚大な被害なし 電力：使用可能 上下水道：断水（トイレは使用禁止） 通信：固定電話・携帯電話は輻輳、ネット環境は使用可能 ガス：停止
備品	ホワイトボード、地図、透明シート、マジック、ゼッケン、文房具一式

訓練の前提（主な登場人物の条件）

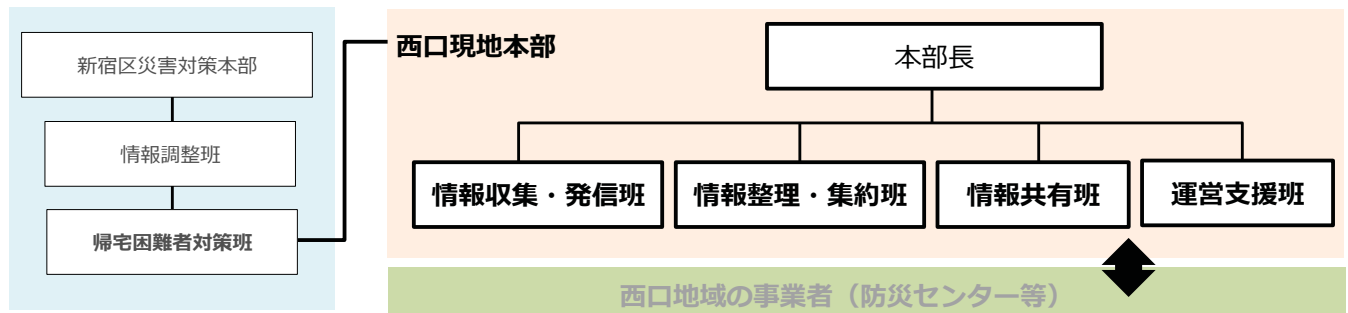
新宿区災害対策本部（帰宅困難者対策班）



訓練の前提 (地域の条件)



役割分担 (新宿駅西口現地本部運営マニュアルより)



役割	活動内容
本部長	西口現地本部の 運営指揮 (状況把握、意思決定、指示、外部との調整)
情報収集・発信班	各ビル、新宿区等から西口現地本部に寄せられる 各種情報の確認、交換 (緊急医療救護所、災対本部、一時滞在施設等)
情報整理・集約班	情報収集・発信班が受け付けた各種情報から、事業者や滞留者に 提供すべき情報の抽出
情報共有班	情報整理・集約班と連携し、各種情報を地図やホワイトボード等にとりまとめ、 情報の可視化 をする。
運営支援班	各種ボランティア、物資等に関する 提供・派遣依頼情報の入手とマッチング 専門家派遣先の決定

訓練のルール

- 訓練上のやり取りは全て、紙（付与票、対応記録票）によって行われます。
- コントローラーに質問したい事項は、対応記録票に記載して問い合わせます。（問い合わせた内容は、対応記録票に記載されて、プレーヤーに戻されます。）
- 訓練は実時間を早めて行います。
- 対応記録票には、必ず付与票にある「付与No」を記載してください。
- 地図やホワイトボード、模造紙等は自由に書き込んでOKです。
- 対応が終わったものは、付与NOごとにまとめて、ホッチキスをし、処理済みの箱に入れてください。

訓練の練習（訓練方法の確認）

付与票

西口現地対策本部運営シミュレーション訓練 2015年9月30日

付与No 練習 付与時刻: 13:50

付与票			
訓練上の時刻	10:50	付与方法	伝令
情報元	帰宅困難者対策班	付与先	西口本部

帰宅困難者対策班の到着

情報内容

新宿区災害対策本部から防災無線機をもって帰宅困難者対策班が到着しました。今後は帰宅困難者対策班を通じて西口現地本部（以降、西口本部）と新宿区災害対策本部（以降、災对本部）の情報共有を図ってください。

また、災对本部に以下を報告してください。

- ・西口本部の開設時刻
- ・西口本部の本部員数・班構成
- ・西口本部の情報連絡手段、災害時優先電話番号

対応が終わったら「付与票」と「対応記録票」を重ねてホッチキスをして、処理済み箱へ

処理済箱

対応記録票

西口現地本部運営シミュレーション訓練 2015年9月30日

対応記録票

記録者 鈴木 太郎 A(B)C(D)班

付与No.	練習	付与票に記載された時刻	10:50
記録者(あなた)			
<input type="checkbox"/> 情報収集・発信班 <input type="checkbox"/> 情報整理・集約班 <input type="checkbox"/> 情報共有班 <input type="checkbox"/> 運営支援班			
対応または問い合わせをする先			
<input checked="" type="checkbox"/> 災对本部(帰宅困難者対策班)			
<input type="checkbox"/> ビルA 防災センター <input type="checkbox"/> ビルB 防災センター <input type="checkbox"/> ビルC 防災センター <input type="checkbox"/> 西口ホテル <input type="checkbox"/> 西口デパート <input type="checkbox"/> 西口商店街 <input type="checkbox"/> 西口地下街 <input type="checkbox"/> 現地に派遣した要員 <input type="checkbox"/> 専門家(機運・建築関係) <input type="checkbox"/> 学生ボランティア <input type="checkbox"/> 日赤ボランティア <input type="checkbox"/> その他()			
対応内容(1)			
対応内容: <input checked="" type="checkbox"/> 確認(受領)のみ <input type="checkbox"/> 返信 <input type="checkbox"/> その他 対応方法: <input checked="" type="checkbox"/> 防災行政無線 <input type="checkbox"/> 災害時優先電話 <input type="checkbox"/> 対面(口頭・伝令)			
付与票に記載された時刻:			
(記入イメージ)			
西口本部開設時刻: 11時00分			
本部長: 西口太郎(西口デパート)			
情報収集・発信班: 東京西子(ビルD)、東口太郎(ビルA)			
情報整理・集約班: 新宿太郎(ビルB)			
情報共有班: 工学西夫(西口ホテル)			
運営支援班: 西口花子(ビルE) 計6人			
連絡手段: 災害時優先電話(03-1234-5678)			
コントローラーの回答(1)			
対応内容: <input checked="" type="checkbox"/> 確認(受領)のみ <input type="checkbox"/> 返信 <input type="checkbox"/> その他 対応方法: <input checked="" type="checkbox"/> 防災行政無線 <input type="checkbox"/> 災害時優先電話 <input type="checkbox"/> 対面(口頭・伝令)			

- 役割の確認
- 付与票と対応記録票の扱い方
- 地図や主な登場人物の確認
- とりまとめ表の確認
- 備品の確認
ホワイトボード、マジック等
- トイレ休憩

index

1. 訓練の目的、本日の予定

2. 訓練方法・ルール、前提、役割分担

3. 訓練

4. ふりかえり

訓練開始

フェーズ I

発災

(地震発生から 1 時間後～ 2 時間)

I 発災 状況とねらい

ここまでの状況

- 各事業者は各ビル等の自衛消防活動を終え、有志が西口現地本部に集まった。
- 東京都や新宿区などの被害の全貌はまだつかめていない。
- 公共交通機関はほぼ全て停止している。
- 一部で停電が発生

【直後】地震発生から1時間後～2時間後（11:00～12:00）

訓練のねらい

- 各施設から西口本部に集まる情報のとりまとめ方法
- 避難場所情報の把握と提供

フェーズⅡ

残留

（2時間後～夕方（日没前））

Ⅱ 残留 状況とねらい

ここまでの状況

- 滞留者向けの避難場所は「新宿中央公園」
- サイネージを活用した誘導
- 地域や施設の危険等でその場所に滞留できない事業者、滞留者がいる

【直後から一時避難】地震発生 2 時間後～ 6 時間後
(12:00～16:00)

訓練のねらい

- 西口本部に集まる情報の追加・更新
- 各施設に必要な情報を提供
- 一時滞在施設開放の準備

工学院大学サイネージ(地下通路)[管理者:工学院大学]



西口駅前広場サイネージ〔管理者:道路公社〕



フェーズⅢ

滞在

(夕方～夜)

Ⅲ 滞在 状況とねらい

ここまでの状況

- 緊急医療救護所の設置
- 施設を一時滞在施設の解放（まずは公共から）
- 災対本部から、一時滞在施設提供の依頼
- 杉並区で大規模火災

【一時避難から一時滞在】地震発生から6時間後～10時間後
(16:00～20:00)

訓練のねらい

- 各施設の滞留者受入れ可否状況の把握
- 各施設に一時滞在施設情報の情報提供
- ボランティアや専門家の派遣に必要な情報の把握
- 物資や人材等の調整（マッチング）

フェーズⅣ

帰宅

(日没～翌朝)

IV 帰宅 状況とねらい

ここまでの状況

- 避難場所から一時滞在施への移動
- 一時滞在施設の解放（民間）
- 防災資機材の提供（有志）
- 重大なそうな負傷者の把握

【一時滞在から帰宅】地震発生から10時間後～
（20:00～翌日06:00）

訓練のねらい

- 鉄道運行再開情報の共有
- 帰宅再開のアナウンス
- 一時滞在施設の閉鎖
- 通常営業再開

訓練

終了

1. 訓練の目的、本日の予定

2. 訓練方法・ルール、前提、役割分担

3. 訓練

4. ふりかえり

各班で感想、課題のまとめ（20分）

進行：本部長、記録：情報共有班、発表：運営支援班

- ① 訓練で行った役割で苦勞した点
や困難だった点とその改善案
- ② 手順書や各種様式を使用しての
感想

発表時間：1班3分

お わ り

お疲れ様でした！

<http://www.gensai-atelier.com>